



5\_今年も可愛い浴衣姿で演奏を披露した益城中央小の器楽部 / 6\_躍動的なよさこいでステージを賑わせた肥後益城躍進隊・YOSAKOI小巻組 / 7, 8\_1,000人で輪になって踊った町民総踊り / 9\_一条乱れぬ動きと軽快なサウンドの益城中マーチング演奏  
左ページ下\_美しい津軽三味線の音色で観客を魅了した高崎裕士のライブ



8月21日、益城の暑い夏を飾る最大のイベント『第38回益城町みんなの夏祭り』が、町民グラウンドに町内外から4万4千人の観客を集め、今年もにぎやかに開催されました。

午後5時、ちびっ子ファンお待ちかねのTVキャラクターショーで幕が開き、悪に立ち向かいステージ狭しと戦うゴセイジャーに、ちびっ子たちからは「ガンバレ!!」と熱い声援が送られました。

引き続き、熊本お笑い道場先笑ライブin益城町、小・中学校音楽祭、益城紅太鼓による演奏と多彩なステージが繰り広げられ、訪れた観客からは、盛んな拍手が湧き上がっていました。

メインの町民総踊りでは、町内の各種団体や企業から約1,000人が参加。飛び入りの参加者も含め、200mトラックに溢れんばかりの巨大な輪を作り、その日の法被や浴衣姿で手拍子に合わせ、笑顔で和気あいあいとした踊りを披露しました。

祭りも終盤に近づくと、肥後益城躍進隊とYOSAKOI小巻組の共演による躍動感溢れるよさこいで場内はヒートアップ。益城町が誇る益城町出身の高崎裕士の津軽三味線ライブでは、そのダイナミックかつ繊細な音色が、暑い夜空にどこまでも響き渡り、観客はその音色に酔いしれ、祭りに華を添えました。

そしてフィナーレは、呼び声高い花火大会。今年も2千5百発の花火が、大音響と共に美しい大輪を咲かせ、益城の夏の夜空を彩っていました。

